

平成 24 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市長森コミュニティセンター	所管課	市民協働推進課
所在地	岐阜市前一色一丁目2番1号		
指定管理者名	岐阜市長森コミュニティセンター運営委員会		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	18, 514, 000円(平成24年度)		
施設の設置目的	地域住民の連帯意識を高め、快適で住みよい地域社会の形成に寄与すること		
施設概要	敷地面積 4, 087㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 2, 728. 74㎡ 防災会議室、多目的室、音楽室、スポーツ室、料理教室、サークル室、集会室、教養娯楽室、大集会室、チビッ子コーナー、駐車場 岐阜市東青少年会館(併設施設)、岐阜市長森図書室(併設施設)、岐阜市長森ふれあい保健センター(併設施設)		

●利用状況

		H24 上半期	H23 下半期	H23 上半期	H22 下半期	H22 上半期
利用者数(単位:人)		39,419	39,702	33,957	38,289	35,958
各室稼働状況(%)	防災会議室	76.9	73.3	69.6	71.7	70.3
	多目的室	22.3	23.0	25.1	20.5	23.1
	音楽室	57.8	59.9	56.1	56.3	55.4
	スポーツ室	89.4	86.8	86.2	89.9	85.8
	料理教室	22.3	27.9	18.5	22.5	13.6
	サークル室	16.4	20.0	22.7	29.6	23.6
	集会室	49.5	45.4	39.5	35.8	39.7
	教養娯楽室	14.0	21.7	17.4	19.9	19.8
	大集会室	41.6	45.2	42.0	45.0	39.5

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者 サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③コミセンたよりを発行し、構成区域の地域住民を対象にセンターの活動状況などを紹介している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・ 提案事業	下記自主事業の実施 ①消防訓練(6月、1月) ②生涯学習フェスティバル(11月) ③コミセン講座(3回)(7月、9月、12月) ④定期サークル代表者会(6月、2月) ⑤コミセンだより発行(8月、3月)	①6/12に実施。50名参加。 ②下半期に実施。 ③7/15に実施(普通救命救急講習)。24名参加。 9/20に実施(料理講座)。31名参加。 ④6/16に実施。45名参加。 ⑤1,500部発行 構成地域の自治会各班にて回覧。
施設管理	日常点検 ①消防設備点検(自主点検) ②不審者、危険物(自主点検) 法定点検 ①昇降機保守点検(年1回) 定期点検 ①昇降機保守点検(年12回)	日常点検 ①特記事項なし ②特記事項なし 法定検査 ①下半期に実施 定期点検 ①4/17、5/29、6/21、7/18、8/17、9/12に実施。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施	日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。
危機管理・ 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市コミュニティセンター条例第7条の規定に基づき実施されている。 ②マニュアルを整備するとともに、年2回避難訓練を実施している。 ③関係法令を遵守し、運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成24年8月1日～8月31日に実施
利用者アンケートの実施結果	設問① 利用した部屋は 防災会議室 25.0%、多目的室 0%、音楽室 16.7%、スポーツ室 22.2%、料理教室 5.5%、サークル室 5.5%、集会室 13.9%、教養娯楽室 0%、大集会室 8.4%、 設問② 利用頻度は 以前に利用 22.2%、定期的に利用 77.8%、初めて利用 0% 設問③ 施設の雰囲気について 大変満足 55.5%、ほぼ満足 41.7%、やや不満 2.8%、大変不満 0%、わからない 0% 設問④ 設備・備品について 大変満足 52.8%、ほぼ満足 41.7%、やや不満 5.5%、大変不満 0%、わからない 0% 設問⑤ 職員の対応について 大変満足 63.9%、ほぼ満足 33.3%、やや不満 0%、大変不満 0%、わからない 2.8% 設問⑦ 性別 男性 25.0%、女性 75.0% 設問⑧ 年代 20歳未満 0%、20代 0%、30代 16.7%、40代 11.1%、50代 13.9%、60代 41.7%、70歳以上 16.6%
利用者からの要望・苦情と対応・改善	幼児とトイレに入るのに使いにくい。 →1階奥北側の多目的トイレを使用してください。 ドアの外から中が見られたらいいと思う。 →スポーツ室のドアは遮音性と乱反射しない機能的な両開きドアが設置されており、覗き窓があるドアに替えると機能が損なわれる可能性があるため現状のままでお使いください。 電子レンジがもう2台ほどあってほしい。 →電圧の関係から増やすことはできません。 音楽機器が時々調子が悪くなる。 →修理依頼しますので、詳しい故障内容を事務室に教えてください。 駐車場に停められないことがある。 →駐車スペースは身障者用の他76台分あります。大きな団体には駐車台数を減らすお願いをしています。 駐車場1台分の間が狭い。 →区画を広くすると駐車台数が減るため、現状で利用してください。 駐車場の水はけが悪い。 →U字溝等を清掃します。損傷等は市に報告しています。 和室のふすま(出入口)がかたい。 →建付け調整を行います。 2階女性トイレのカギがかかりにくい。 →建具の調整を行います。 スポーツ室にムカデが出た。 →生息調査をした結果は基準範囲内でした。粘着シートを設置します。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	岐阜市長森コミュニティセンターの運営上の基本方針	・利用要領に従い、平等な施設利用の承認を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌やチラシで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用(設置 目的)を最 大限発揮す るものであ ること	地域の生涯学習及びコミュニティ活動の推進を行っていく上で方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進に資する業務を行っているか	A	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・地域の生涯学習、コミュニティ活動の場として提供されているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	・運営委員会事業の内容を常に見直しを行っているか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備等の整備など)	・接遇等の職員研修が実施されているか ・定期的に備品の点検を行い、必要に応じて改善されているか	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図ら れるもので あること	指定管理に関する経費の設定額の妥当性と経費縮減の方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		効率的な運営を図るための組織の構造	・職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書 に沿った管 理を安定し て行う物的 能力、人的 能力を有し ていること	必要人材の配置と職能及び人材育成の方策	・業務に必要な研修を実施し資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令遵守は適切に行われているか	A	A	A
		施設管理を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		区分評価				A

貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地域の生涯学習、コミュニティ活動の推進のため、ニーズを把握し、地域と一体となって事業推進ができる組織	・地域の自治会連合会等の各種団体の代表者で構成する運営組織であり、地域に密着した運営が行われているか	A	S	S
		地元の住民の雇用及び貢献に関すること	・地域に密着した運営ができるよう、地元在住者を職員として採用しているか ・地域の振興、活性化に貢献する活動が行われているか	A	S	S
	区分評価					S

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組みに対する評価	・光熱水費、特に電力基本料金の節減が図れればということで7・8月において「電力デマンド監視システム」を設置し、試行を行いました。試行中において、2度基準値超の予告ブザーが発せられ一部消灯、冷房の中断等により対応を図りました。しかしながら、節電等による利用者の利便性を考えた場合には費用効果も少ないように推測された。 ・利用者用駐車場として第2駐車場において、配列を考慮し、僅かですが4台分の駐車スペースを確保することができました。
前回までの意見の取組み状況	・利用度の低い料理教室について、8月に発行した「長森コミセンだより」に利用の案内を掲載し、地域全戸に回覧をしたり、また来館者に窓口で自由にお持ち帰りできるよう配置しました。更には、各集りの場においても協力をお願いするなど利用の拡大に努めています。 ・コミセン講座を年3回計画をする中で、2回目の講座を料理講座とし、9月～11月の間に4回計画を立て進めています。(募集については、地域にチラシを回覧し、施設内ではポスターを掲示を行うなどし、参加者を募りました。)
今後の取組み	・当コミセンは年2回「長森コミセンだより」を発行しています。コミセンサークルの紹介やコミセンとしての年間の活動状況等を報告するとともに、併設施設の活動状況等もお知らせするなどし更なる広報に努めていきたいと考えています。 ・コミセン講座等も引き続き開設をし地域利用者の増加につなげられるよう努めていきます。

●所管課の意見

・利用状況等については、前年度に比べ、利用回数、利用者ともに増加している。 ・指定管理者の事業については、センターの機関紙「長森コミセンだより」を発行し、構成区域の地域住民を対象にセンターの活動状況などを紹介しているほか、コミセン講座として普通救命救急講習、料理講座を開催するなど地域に密着した特色ある事業を実施している。 ・利用者の声を聞くため、8月の1ヶ月間アンケート調査を実施し、利用者の意見を取り入れ、利用者の目線に立った運営を行っており、評価できる。利用者からの苦情も特になく、要望等についても、可能な限り迅速に対応しており、適正な運営がなされている。 ・運営組織は、地域の自治会連合会の各種団体の代表者により構成されており、利用者が利用しやすい運営方法の改善や施設の維持管理に努めるなど、適正な施設運営が行われていると評価できる。
--

●指定管理者評価委員会の意見

・事故等はなく、施設の安全な管理がなされていると考えられる。 ・地域住民の主体的な運営が行われ、地域のまちづくりに貢献していると考えられる。
